

◇
論
文
紹
介

福井藩の統一国家論生成・展開過程の

一考察 三上一夫 『福井県教

育研究所研究紀要』八一号 一九八二

幕末の激動する政局のなかで福井藩は、討
幕・佐幕両派の中間にあつて「会議派」路線
による統一国家建設の方途を模索した。徳川
の「私政」を廃し、「公論」にもとづき新国家
の樹立をはかるものであるが、その具体化は
難航し挫折した。本稿はその過程を詳細に分
析したもので、その「会議派」の政治理念が
明治十年代の自由民権運動のなかに継承され
ている点についても鋭く指摘している。

(舟沢茂樹)